

であいこうか

交流スペース「かまーとの森」
かとう けいこ
加藤 恵子さん

窯元や作家の陶房が立ち並ぶ信楽町長野。その中心部からはやはすれ、陶芸の森の裏手に「かまーとの森」があります。今年3月に、ショールームだけでなく地域の交流の場としてもこの場をオープンさせた加藤さんにお話を伺いました。



◆「かまーとの森」はどんな場所ですか？

信楽を訪れていた方、信楽でお住まいの方が気軽に寄っていただき、楽しく交流してもらいたい場所です。



◆開かれたきっかけは？

最初、80mのトンネル窯の跡地にショールームを作ったのですが、3分の2はまだ空いてました。40年前の配管などがそのままあるその空間を、都会の人や地元の陶芸作家さんが、面白く感じてくださったようで、「ここで何かしよう」と、いろいろな提案をくださいました。

まず3月末に、信楽焼の傘立に皮を張ったジャンベという太鼓を中心に演奏会を開きました。そこで色々な方々と交流することで、次々と新しい企画が生まれました。誰もがふらっと立ち寄ってもらえて、楽しいと感じていただけたらと思っています。

◆今のこの場所は、その出会いが作ったのですね。

はい、今は地元作家さんのギャラリーを開催していますが、音楽家の演奏会も予定しています。ここで出会った皆さんの思いが実現させたと思います。

◆今後の思いをお聞かせください。

陶器だけでなく、信念を持ったものづくりをしている人がいて、それを求める人の出会いの場であったり、交流の場になれば良いなと思っています。

「かまーとの森」で6月2日(日)、6月7日(金) 地元在住の音楽家のコンサートが行われます。

入場無料でどなたでも参加できますので、参加ご希望の方は【かまーとの森 ☎60-8539】までご連絡ください。

市内出身、滋賀県育ちのなでしこが地元デビュー なでしこリーグ公式戦

市内で初となるプレナスなでしこリーグ第4節「伊賀FCくノ二対アスベランツFC大阪高槻」が4月13日、水口スポーツの森陸上競技場で行われ、1,333人の観客がスタンドを埋めました。

後半早々、市内出身で大阪高槻の池田あすみ選手の名前がアナウンスされると、会場は大きな歓声に包まれました。プロ入りまで全て県内の学校でプレーしたのは池田選手が県内初で、これまでのチームメイトら多くの関係者が応援に駆け付けました。

伊賀FCの湖南市出身の選手や池田選手らは、1対1の引き分けに終わった試合後もスタンドから投げかけられる歓声に手を挙げて応えていました。

同点ゴールの瞬間と、池田選手(24)



的の中に歓声湧く 椿神社・流鏑馬神事

地域で選ばれた青年が乗馬し、鎧矢(や)の的を射る「古式流鏑馬神事」が4月7日、甲賀町隠岐で行われました。

この神事は、約370年前から続くもので、市の無形民俗文化財に指定されています。選ばれた馬乗り人は、乗馬の訓練を重ね、また、さまざまな古式にらって当日を迎えます。当日は、馬場を5度駆け抜けます。1、2度目は両手を広げ、3、4度目に矢を放ち、最後は片手に扇を広げます。今年は同地区の小川(おがわ)普史(ふし)さんが務め、見事的中させました。観衆からは歓声と拍手が沸き起こり、十数年ぶりといわれる的の中に「良い年になる」と喜びました。

観衆の中、馬場を駆け抜ける



元気なまちかど

身近な素材でおもちゃづくり にんくる土曜塾

小学生以下を対象にした子育て支援「にんくる土曜塾」が4月13日、甲賀町のにんくる児童館で開かれ、市内の親子12名が参加しました。

この日はアルミホイルで「恐竜のたまご」を作り、段ボールや牛乳パックで作られたコースに転がして遊びました。

袋状にしたアルミホイルにビーズを入れ、小箱の中で何度も振ると、卵形に変形します。

子どもたちは、転がる様子を観察したり、みんなのたまごを競走させたりして身近な材料で作るおもちゃを楽しみました。

※「にんくる土曜塾」は毎月第2土曜日に開催されています。



誰の「恐竜のたまご」が一番早く転がるかな

多羅尾小で新しい友だち迎える 多羅尾小学校入学式

市内23校の入学式の4月8日、多羅尾小学校では学区外から通学する1人を迎えて式が行われました。希望により、他の通学区から小規模校で通うことができる「特認校制度」が今年から始まったことで、新一年生の予定がなかった児童は、新しい友だちを迎えることになりました。

同校で四半世紀の歴史を誇るオペレッタは、毎年大きな感動を呼んでおり、地域とのつながりも強い温かな校風を持っています。

この日も、地域代表の皆さんが出席するなか9人の在校生たちはダンスを披露し、かわいい妹ができたうれしさを表わしていました。

新入生歓迎のダンスを楽しむ近野さん親子



桜並木の下で一味違う給食 鮎河小学校お花見給食

鮎河小学校の「お花見給食」が4月9日、同校の近くを流れるうぐい川河畔で行われ、全校児童24人が地元の特産「鮎河菜」の和え物や赤飯などの献立に舌鼓を打ちました。

卒業記念などにより植樹された約200本の桜は、地域の皆さんによつて管理され、毎年開花時には市内外からの花見客で賑わっています。「お花見給食」も同校の恒例行事で、川の両岸に続く桜並木の下で、楽しんで話をしながら、いつもと一味違う給食を味わっていました。



桜の木漏れ日の中で